

小児救急看護認定看護師

- あらゆる場面において子どもの権利と尊厳を保障した看護援助を行うとともに、根拠に基づくフィジカルアセスメントから問題点を抽出し、子どもにとって必要な援助を実践・指導します。
- 不慮の事故、子どもの虐待の事例に対し、細かな情報収集と分析を通して適切な援助と予防教育を実践・指導する。また、退院後の育児支援を地域とともに考え、切れ目のない支援を提供します。

私たちはこんな事をやっています
(分野内の教育や相談の内容)

- 小児看護援助のアドバイス
- 小児呼吸ケアのアドバイス
- 小児心肺蘇生講習会
- 小児フィジカルアセスメント勉強会
- 子ども虐待予防の啓発活動、勉強会
- 虐待(虐待疑い)の家族対応、多職種カンファレンス
- 不慮の事故予防の啓発活動
- 地域との連携(小児心肺蘇生、子どもの救急対応等の講義)



横矢 ゆかり

私が最も大切にする看護テーマは「子どもが笑顔になれる看護援助」「子どもにとって今必要なことは何か」を追求し、実践することです。これからも子どもに関わるすべての事柄に関わり、取り組んでいきます。日々の看護で気になる事(成人と違うけどこのケアで良いの？このまま子どもを家に帰しても大丈夫？・・・)、講義や勉強会などの要望がありましたらすぐにご一報ください。相談事例から私自身も学んで行きたいです。

田中 猛

成人と小児の混合病棟で働く中で、もっと子どもについて学びたい！という思いから、小児救急看護認定看護師を目指すことになりました。小児救急看護認定看護師は児童虐待・不慮の事故対・救急蘇生・育児相談と活動の範囲は幅広くあります。『子どもってよくわからない、子どもって苦手、子どもって...』こんな事思った事とありませんか？私も以前まではそう思っていました。でも、子どもって素直でかわいいんです。『どう対応したらいいのかわからない』『こんな事例で困っている』など些細な事でもご相談ください。特に子どもの虐待に関する通告は増加傾向にあり、メディアでも頻繁に取り上げられています。私はそんな虐待を少しでも減らしていきたいと考え日々取り組んでいます。一緒に考えていきましょう。